

第 137 回「言葉の院外処方箋」

読書遍歴 ～ 生きる方法 ～

2022 年 11 月 19 日午前中、早稲田大学エクステンションセンター(中野校)での講座『がんと生きる哲学：医師との対話を通して「がん」と生きる方法を考える』に赴いた。教科書『がん細胞から学んだ生き方』（へるす出版）の読み合わせと解説をしつつ、受講者とのディスカッションを中心に講義を進めた。今回は、『がん細胞はギブ・アンド・テイクの実践者』、『進歩するがんの治癒法』、『天寿がんの時代』、『がん細胞同士はバランスを保つ』、『楕円形の生き方』、『アダムとイブが伝えるもの』、『人間は 120 歳を超えられない』の箇所であった。

『がん哲学』とは、『がん細胞から人間社会の病理をみる』である。早速、『今日も素晴らしい講義をありがとうございました！ また来週もよろしく願います。』との心温まる励ましのメールを頂いた。

2022 年 11 月 19 日午後は、『がんでお悩みの方へ ～ 樋野興夫先生のお話・質問とカフェタイム ～』（上野の森キリスト教会に於いて）に向かった。『がん哲学外来メデイカル・カフェ・上野の森』開催記念会のテーマは『新渡戸稲造（1862-1933）生誕 160 周年記念—日常の決断・行動』であった。【30 分間樋野先生と重田先生との対談、5 分間の休憩の後、20 分間重田先生の参加者からの質問に、樋野先生からのアンサーとなっております。その後、ピアノ演奏、お知らせの後、カフェとなります。樋野先生は、カフェと並行して、個別面談をお願いいたします。】とのことであった。

会場から筆者の読書遍歴について質問された。【南原繁（1889-1974）が東大総長時代の法学部と医学部の学生であった私の 2 人の恩師から、南原繁の風貌、人となりを直接うかがうことが出来た。南原繁は「高度な専門知識と幅広い教養」を兼ね備えている人物であり、『視野狭窄にならず、複眼の思考を持ち、教養を深め、時代を読む「具眼の士」』である。そして、『内村鑑三（1861-1930）& 新渡戸稲造』へと導かれ、英文で書かれた『代表的日本人』（内村鑑三）& 『武士道』（新渡戸稲造）は、若き日からの座右の書である。また、その流れの矢内原忠雄（1893-1961）の 4 人である。】とさりげなく答えた。「解決 vs 解消」と「支える vs 寄り添う」の違いも語った。

がんでお悩みの方へ

樋野興夫先生のお話・質問とカフェタイム

テーマ「新渡戸稲造・生誕160周年記念ー日常の決断・行動」

開催記念

2022年11月19日

午後2時から午後3時50分



樋野興夫
(ひのおきお)

がん哲学外来メディカル・カフェ・上野の森

2回目以降 時間:午後2時から3時40分

2022年 12月10日(土) 3月18日(土)
2023年 1月21日(土) 4月15日(土)
2月18日(土) 5月20日(土)

会場 上野の森キリスト教会
(5F 礼拝堂)

入場無料
席上観望あり

〒110-0015 東京都台東区東上野5-11-9 [地図は裏面]
TEL:03-3843-3130 fax:03-3843-3145g
Email:uenonomori.church@gmail.com
HP:https://www.uenonomori.org/

先生のプロフィール

順天堂大学名誉教授、新渡戸記念中野総合病院 新渡戸稲造記念センター長、恵泉女学園理事長。
日本の改革に活躍された勝海舟、内村鑑三、新渡戸稲造、南原繁、矢内原忠雄先生がたより影響を受けて、がん哲学外来を創始されました。

メディカルカフェとは?

がんと告知されてから、あなたが持つ「悩み・不安・想い・願望」などを直接聴いて、「解消できる道」を一緒に探し、「医療のすきま」を埋める活動です。がんを患う御本人だけでなく、支えられている家族の方々、御友人の方々の相談も伺います。今や、世界的に注目されています。

主催:上野の森キリスト教会

後援:一般社団法人 がん哲学外来